



松輝祭に向けて動き始めています

8月下旬より、生徒会最大の行事である文化祭「松輝祭」に向けて準備が進んでいます。松輝祭に向けた合唱練習と文化部の取組の様子を紹介します。

クラス合唱練習の様子

各学級で、人との間隔がとれる場所を使い、感染対策を取りながら合唱練習をしています。練習を通して、「3年間、歌い継がれているこの歌を大切に歌いたい」「歌詞を覚えたので、他のパートにつられないように気を付けながら歌っていきたい」「みんなをまとめられる指揮者になれるように頑張りたい」「みんなと一緒に歌っているつもりで伴奏をしたい」などの思いをもっている生徒たちの姿があります。

今年度は、コンクール形式ではなく、発表会形式で行いますが、各クラスの頑張りや団結・協力を、合唱を通して伝え、互いによさを認め合える発表会を目指していきます。



文化部発表に向けて



放課後、文化部が松輝祭に向けて準備や練習をしています。各部の部員さんに松輝祭に向けての話を聞くと、次のように言っていました。「みんなで頑張って、協力して練習している。3年生も頑張っている(吹奏楽部)」「全員そろってできないけど、ちょっとずつ確実に進めて、今までお世話になった人に感謝を込めて、気持ちを込めて歌いたい(合唱部)」「全員が失敗せず、完璧に発表できるようにしていきたい(ガリレオ倶楽部)」「これまで練習してきた成果をみんな一緒に発表できるように、短い時間だけ頑張りたい(演劇部)」「作品作りを頑張っている。精一杯力を尽くしていく(美術部)」

松輝祭まで日数はあまりありませんが、その中で1・2・3年生が縦のつながりを大事にして、準備や練習をしている姿が印象的です。



2 学期の授業づくりについて研修・授業研究をしています

2 学期は、まずは、生徒会最大の行事である松輝祭がありますが、やはり、大事なのは日頃の授業です。そこで、夏休みの最終日に「全国学力・学習状況調査の結果をふまえた研修」を行い、そして、9月1日（木）には、数学科の研究授業を行いました。

全国学力・学習状況調査の結果をふまえた研修 ～授業づくりを考える～

4月に3年生が行った全国学力・学習状況調査の結果をふまえ、2学期は、どのように授業をつくらなければいいのかわ、全国学力・学習状況調査の問題や生徒の解答を見ながら話し合いました。今年度の全国学力・学習状況調査は、国語と数学と理科でしたが、3教科以外の教科でもどう生かしていくのかを考えました。

結果や話し合いを通して、「生徒が自分の考えを書く時間をきちんと確保する。その上で、友との話し合いを記述する時間を確保したり、話し合った後に再び自分の考えや思いを書く時間を確保したりしていく。」「毎回の実験観察で根拠を明確にして考察を書くように教師が指示をする。」「この問題に込められたメッセージを分析できてよかった。その授業で生徒ができるようになったのかを意識しながら授業を行っていく。」「授業のまとめの場面で、端的にその時間の学びを言葉で書く時間を設けたい。」等を考え、現在、授業を行っています。



3 学年数学科の研究授業 ～段の数と面積の関係は？～

3 学年の関数領域の単元「関数 $y=ax^2$ 」の第1時の場面で、研究授業を行いました。この単元では、「 $y=ax^2$ のグラフは放物線」ということや、「グラフが曲線になるということは変化の割合が一定ではない」こと等を、既習である比例や反比例、一次関数と比較したり、表や式やグラフを関連付けたりしながら学習していきます。そして、同時にこの単元で学習することは、「関数」です。その「関数」に着目した授業が、この第1時でした。

生徒は、正方形の段の数と面積の関係を、表やグラフを使って調べていきました。すると、既習である比例や反比例、一次関数ではないことに気付いていきます。「何だろう？」と問いをもち始めた生徒は、既習との比較をしたり、友と話し合ったりしていきました。話し合い等を通して、「比例や反比例、一次関数ではないが、この2つの数量は関数の関係である」と考えた生徒たちでした。本時の授業は、まさに生徒たちの「主体的・対話的で深い学び」の授業でした。

